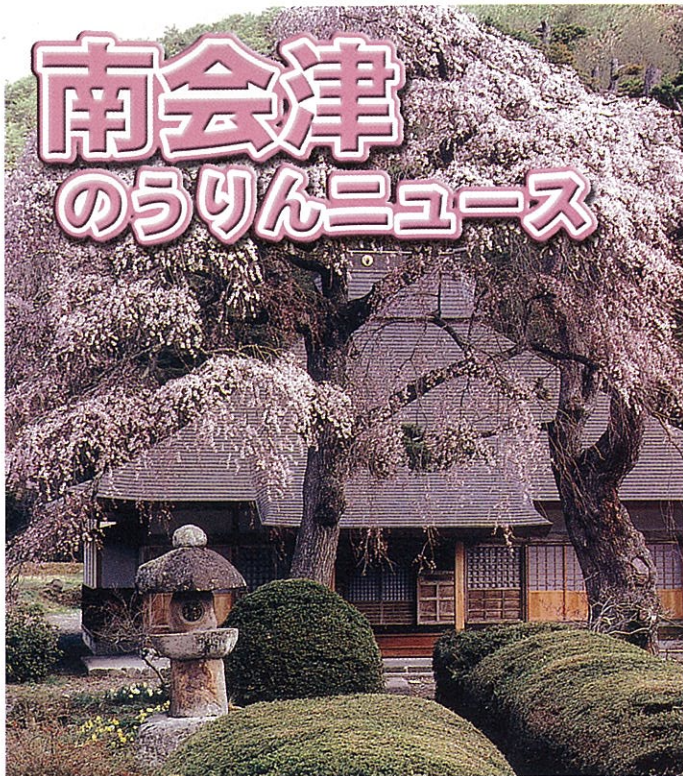


南会津 のうりんニュース



平成17年4月（第83号）

今月の写真：「南泉寺の桜」（田島町）

残雪が残るこの頃ですが、桜の開花の便りがそろそろ届く季節となりました。

この写真は、『南泉寺』と『春を告げる新緑』、そして『シダレサクラの桜色』が鮮やかなコントラストをなしている風景です。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ たていわ農産全国表彰
 - ・ 「グリーンフォレスター」認定される
 - ・ 第2回食品産業と農業との情報交換会を開催
 - ・ 商品の魅力は、ていねいな対応と上手な売込みでアップします。
- 農林事務所からお知らせ
 - 農業普及部の組織体制等の改正について
- ひとくち普及情報
 - 地産地消の取り組みがさらに進んでいます。
- 人事異動のお知らせ
- 研修会・講習会等のお知らせ

平成17年4月15日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

たていわ農産全国表彰



国産そばの振興に積極的に取り組み、地域の模範となっているそば生産優良経営農家及び集団を表彰する、社団法人日本蕎麦協会主催による、平成16年度全国そば生産優良地区表彰事業において、館岩村の会津高原たていわ農産有限会社が集団の部で農林水産省生産局長賞を受賞し、平成17年3月15日、東京の虎ノ門パストラルで開催された表彰式で表彰を受けました。

この賞は、そばの生産拡大と品質向上により経営改善を図った個人及び集団を表彰するもので、会津高原たていわ農産有限会社は、そばの作付面積が32.1haで30.5tの収穫量があります。また、販売面では、同社が「そば処曲屋」と「そば処番屋」の2店舗を経営し、併せて地元のホテル、旅館、民宿等で使用し地産地消を行っております。同社は、年々増加している遊休農地の活用と、畦畔除去や排水対策等の簡易土地改良工事による生産安定対策、地産地消等そばによる地域活性化を積極的に推進されていることが評価され受

賞されました。

社長の星喜久夫さんは、『この受賞は村及び会社が一体となって進めてきた結果が評価されるものであり大変ありがたい賞であります。今後も優良農地の維持確保と地域発展のため積極的な事業を展開したい』と熱く話されておりました。

（農業普及部）

「グリーンフォレスター」認定される

昨年度から始まった「グリーンフォレスター養成講座」の認定書交付式が3月22日に合同庁舎4階にある福島県南会津農林事務所の所長室で行われました。

グリーンフォレスター養成講座とは、近年県内各地で行われるようになった下刈り等の林業体験の指導者を養成するもので、受講生は、森林林業セミナーや林業労働安全衛生講習会等を受講し、レポート提出による審査を受け認定を受けます。平成9年度から誕生した「福島県もりの案内人」と併せ、森林とのふれあいをサポートする指導者の充実が期待されます。

今年度は、南郷村で月田農園を営み地域の小学生等に対し森林教育を行っている月田禮次郎さん、只見町在住でもりの案内人として活躍している古川勝久さん、館岩村森林組合に勤務し教育旅行の生徒を対象と

（2ページに続く）

(1ページから続く)

して林業体験の指導を行っている鈴木秀明さんの3名の方が認定されました。

このグリーンフォレスター養成講座は、平成17年度も実施されますので、林業作業、特にチェーンソーや刈払い機などの林業機械の取り扱いに熟練している方で、森林づくりサポーターとしての活動を希望する方は農林事務所までご連絡下さい。

(森林林業部)

第2回食品産業と農業との 情報交換会を開催

去る3月17日(木)に「第2回南会津地方食品産業・農業ニーズマッチング情報交換会」を、田島町の御蔵入交流館で開催しました(第1回の内容は平成17年2月発行の南会津のうりんニュース第81号に掲載)。

情報交換会は初めに、会津若松市の会津天宝(株)代表取締役会長満田政巨氏に「地元農産物を利用した加工食品の開発」と題して基調講演をいただきました。

創業130年の会津天宝(株)さんは、現在、社員約250名(内障害者13名)で「リストラはない、常に“改革なきところに継続なし”の信念を持ち、単に味噌加工であるが、消費者のいろいろなニーズをとらえ改革することによって、会社は生き伸びることができる。若い社員の開発により“ねぎみそ・大葉みそ・ゆずみそ・にんにくみそ”が商品化された。」とのお話しでした。また、漬物の商品開発では、原材料は地元農家と契約栽培をされているとのこと。「農業者も経営者である。作るだけでなく、売ることも考えなければならない。」といった内容のお話しもされました。会場に集まった約70名の方は、熱心に聞き入っていました。

基調講演後の情報交換会では、コーディネーターの湯田宏氏(田島町)を座長に、満田氏にもご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

製菓業者の方から、「原材料として地元産そば粉、じゅうねん、もち米を使用している。今後会津地鶏の卵



を使用したいと考えているが、コスト、供給が問題と思う。」との意見がだされ、それを受けて、会津地鶏生産者から「やはりコストが課題、産卵率も50%である。」との回答でした。

山菜加工業者の方からは、「今後、原材料に地元農産物の使用を増やしたい。」、量販店の方は、「田島産農産物(アスパラ等)の販売をしたいが、仕入先がなく困っている。」との意見でした。

この情報交換会は、昨年度から実施いたしました。参加者の方から「今まで、食品産業と農業者の意見交換の場がなかったのも、とても参考になった。」との感想をいただき、今後の食品産業と農業のニーズがマッチングできる第一歩になったものと思います。

(農業振興部)

商品の魅力は、ていねいな対応と 上手な売込みでアップします。

平成16年度最後の、グリーン・ツーリズムや直売所運営に関する研修会を3月9日に下郷ふれあいセンターで開催しました。

これはグリーン・ツーリズム活動や直売所運営には絶対に欠かせない、お客様への対応方法や、自分たちの地域や自らの商品の魅力をお客様に上手に伝える方法について学ぶ研修会で、それぞれ「来客対応とクレーム処理」「地域資源と農林産物の売り込み研修会」というテーマで開催しました。

来客対応の研修会では、郡山市の(株)トレイン代表取締役の千葉彰子氏を講師として、参加者がお客様へのサービスやあいさつの仕方について、またクレームを受けた際の対応方法について学びました。

また、売り込み研修会では福島市のデザインボックス代表取締役の加藤雅晴氏を講師に、直売所やグリーン・ツーリズムのデザイン方法についての研修を行ったほか、商品の魅力を表現するキャッチコピーの作り方についての研修を行いました。

平成16年度は直売所やグリーン・ツーリズムに関して様々な研修会を行ってきました。平成17年度もこのような研修を通じて南会津地方の活性化を目指したいと考えていますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

地域資源と農林産物の 売り込み研修会



農林事務所からお知らせ

農業普及部の組織体制等の 改正について

(農業普及部)

平成17年度より農業普及部の組織体制と業務が変わりました。

地域農業推進グループ(旧普及企画グループ)は、集落営農を強力に推進します。経営支援グループ(旧技術経営グループ)は認定農業者等の担い手の育成確保、作目の産地化、環境にやさしい農業等を担当します。

水田農業改革アクションプログラムの達成と集落営農の推進に向けて、皆様の御支援、御協力を御願いたします。

地産地消の取り組みが さらに進んでいます

①第二回『南会津』だからできる大豆研修会を開催

3月14日に館岩村の村民会館で、館岩村の泉屋豆腐店 橋正則氏、前沢豆腐店 小勝等氏、他関係者にご出席をいただき、「南会津産大豆で作った豆腐を試食してみよう」をテーマに大豆研修会を開催しました。

昨年12月21日に開催しました第一回大豆研修会では、生産者と地元実需者が、現在の大豆栽培状況やそれを活用した味噌づくり、豆腐づくりについて情報交換を行い、お互いに理解を深め合うことが出来ました。



第二回大豆研修会は、田島町川島地区で昨年収穫された南会津産大豆「おすすず100%」、「ふくいぶき100%」を原料として、橋氏に豆腐を試作していただき、参加者全員で試食しました。その結果は普段食べている豆腐よりもおいしいとの評価となりました(表1参照)。試食後の意見交換では、「おすすず」は、舌触りが滑らかで、コクがあるとの意見が多くありました。一方、ふくいぶきは今話題の機能性成分「イソフラボン」の含有量が高い特徴があり、美味しく摂取でき健康づくりに役に立つとの意見もありました。

今回の豆腐の試食をとおして、南会津産大豆の魅

表1 試作豆腐の評価の結果(平均点)

評価項目	香り	コク	甘み	渋み	不快味	硬さ	弾力	滑らかさ	総合	
品種	最高点 ▲2点	良い	有り	有り	無し	無し	硬い	有り	滑らか	良い
	最低点 ▲2点	悪い	無し	無し	有り	有り	軟かい	無し	ざらつく	悪い
おすすず	1.20	1.13	0.83	0.24	0.61	1.10	0.58	0.25	1.11	
ふくいぶき	0.55	0.67	0.43	0.24	0.57	1.07	0.57	▲0.57	0.77	

■評価方法：普段食べている豆腐を基準(0点)として、南会津産「おすすず」と「ふくいぶき」を評価項目ごとに5段階(-2、-1、0、1、2)で評価

力を一層深めることができました。今後、新しい品種「おすすず」と「ふくいぶき」の作付けが増えると期待されます。(農業普及部)

②田島町商工会女性部とアスパラガス

田島町商工会女性部では平成16年度「会津田島町地産地消調査研究事業」として田島町の主要な農産物であるアスパラガスを用いた加工品の開発に取り組み、3月25日に試食会を開催しました。

出品された試食品はアスパラガスを乾燥し、微細な粉末にしたものを用いた物で、アイスクリーム、うどん、そば、ラーメン、まんじゅう、飴、げんこつ飴、パン、バウンドケーキ、豆腐、もち、ぼんでもちの12種類でした。

今回の試作品開発は、田島町出身で薬膳料理の研究者であり、千葉県木更津市「やくぜん屋」代表取締役の関田善弘氏をアドバイザーとして行われました。

関田氏は全国各地で特産品開発に尽力されていますが、今回はふるさとの田島町での開発ということで、特に熱心に取り組まれているそうです。

今後、商工会では、6月に企業組合を設立して今回の試作品の商品化に取り組みたいとのことです。(地域農林企画室)

人事異動のお知らせ

南会津農林事務所では4月の人事異動により21名が転出し、22名が新たに配属となりました。

転入者			
所属	氏名	旧所属	ひとことPR
●企画部 (地域農林企画室)	室井 充夫	生活福祉領域	田島町生まれの根っからの南会津人です。
	山岸 直子	中央児童相談所(郡山)	早く仕事に慣れて、南会津ライフを満喫したいと思います。
	本多 洋崇	新採用	ここ数年風邪一つひかない健康が自慢です。全力で頑張ります。
	田中 尚	相双農林事務所	いわき出身。相双の野菜普及員でした。南会津にドブクリ浸ります。
●農林振興部	渡部 利助	南会津建設事務所	2回目の農政勤務で、18年ぶりです。よろしくお願ひします。
	立川 正明	伊達農業普及所	初めての会津地方勤務に緊張と期待いっぱいです。頑張ります。
	菅家 伸	田島高校	生まれも育ちも住んでいる所も只見町です。よろしくお願ひします。
	赤塚 康雄	田村農業普及所	三春町より参りました。早く南会津に慣れるよう頑張ります。
	遠藤 千秋	新採用	早く皆様と馴染みたいと思いますので公私共にお願ひ致します。

所 属	氏 名	旧 所 属	ひ と こ と P R
●農業普及部 (南郷普及所)	星 源 昭	経営支援領域	初めての南会津、5年ぶりの普及所です。よろしくお願いします。
●農村整備部	後 藤 庸 貴	農村整備領域	21年ぶりの南会津勤務。自然満喫、仕事充実で精一杯頑張ります。
	仙 波 均	会津農林事務所	4年ぶり4度目の南会津ですが、心は初任者のつもりです?!
	小 沼 典 男	会津農林事務所	初めての田島ですがワクワクをたくさん発見しようと思います。
	渡 辺 覚	会津若松建設事務所	広大な南会津に圧倒されないよう大きな気持ちでがんばります。
●森林林業部	佐 藤 守	県中農林事務所	私、佐藤は南会津と酒と妻を愛することを誓います。
	渡 部 正 明	森林林業領域	改めて自然やそこで活動する方々から学ばせていただきます。
	大 竹 城 二	県中農林事務所	前任地を離れる際「南会津の星になる」と言って出てまいりました。
	高 畑 純	県北農林事務所	南会津の自然を感じ、人を感じ、どっぷりと仕事?に浸かります。
	内 海 享	富岡林業指導所	南会津は初めてですが、一生懸命がんばります。
	水 野 俊 一	林業研究センター	楽しく仕事ができるよう、頑張りたいと思います。
	小 池 陽 子	森林林業領域	南会津での楽しい日々を満喫したいと思います。
	成 田 善 之	県南農林事務所	よろしくお願いします。

転出者 (カッコ内は転出先です)

●企 画 部	佐藤 (つ) (会津地方振興局)、上妻 (会津大学)、岸 (会津農林事務所)
●農業振興部	澤田 (喜多方建設事務所)、森永 (会津保健福祉事務所)、古川 (畜産振興G)、松田 (会津総合病院)
●農業普及部 (南郷普及所)	大友 (担い手育成G)
●農村整備部	牧野 (ハイテクプラザ会津若松技術支援センター)、山岸 (会津工業高校)、柳田 (会津農林事務所)、寺野 (県中農林事務所)、五十嵐 (会津農林事務所)
●森林林業部	小池 (相双農林事務所)、橘内 (富岡林業指導所所長)、大関 (会津農林事務所)、弓田 (会津農林事務所)、長嶋 (県南農林事務所)、萩庭 (会津農林事務所)、長谷川 (健) (富岡林業指導所)、長谷川 (吉) (県中農林事務所)

～研修会・講習会等お知らせ～



内 容	月 日	場 所
-----	-----	-----

- | | | |
|---|----------|---------------|
| ①アグリスクール実践コース (開講式)
(※県内の新規参入者もしくは新規就農3年以内の方に限ります) | 5月10日(月) | 農業短期大学校 (矢吹町) |
| ②トラクタの安全操作 | 5月25日(水) | 農業短期大学校 (矢吹町) |
| ③きぬあずま (小麦) の生うどん加工 | 5月26日(木) | 農業短期大学校 (矢吹町) |

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.hukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100

PRINTED WITH SOYINK™

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY (大豆) インキを使用しています。